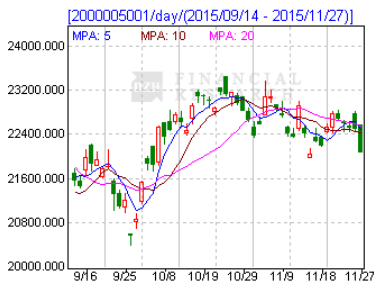




## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	14年末株価
NYダウ	17,798.49	-14.90	-0.08	0.37	-0.14	17,823.07
NASDAQ	5,127.52	11.38	0.22	1.06	8.27	4,736.05
日経225	19,883.94	-60.47	-0.30	0.12	13.94	17,450.77
上海総合	3,436.30	-199.25	-5.48	-5.35	6.23	3,234.68
滬深300 (CSI300)	3,556.99	-202.44	-5.38	-5.76	0.66	3,533.71
ハンセン	22,068.32	-420.62	-1.87	-3.02	-6.51	23,605.04
H株	9,855.66	-252.73	-2.50	-4.33	-17.76	11,984.69

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は3.0%安と反落、上海総合指数は5.3%安

ハンセン指数は1週間で3.0%安と反落。上海市場の下落やトルコとロシアの対立など国際的な緊張の高まりを受け、27日まで5日続落と軟調な展開が続いた。新たな買い手掛かり材料に乏しく、リスク回避を強めた投資家が持ち高調整の売りを増やした。中国の景気減速懸念も重しとなった。上海総合指数も1週間で5.3%安と大幅に反落。一進一退の展開が続いたが、当局による証券会社への調査開始で市場心理が悪化。IPOによる需給の悪化も意識され、27日には上海総合指数が約3週間ぶりに3500ポイントを割り込んだ。

### 今週の展望:香港市場は不安定な値動きに、海外要因に左右される展開か

香港市場は不安定な値動きが見込まれる。先週の中国本土市場の急落で市場心理が悪化する中、本土市場で相場が落ち着きを取り戻すかどうかが焦点。今週は中国の製造業PMI、ECB理事会、米雇用統計と海外で注目のイベントが集中しており、結果によっては波乱要因となる可能性がある。一方、本土市場も不安定な展開となりそう。先週の下げが急だっただけに自律反発狙いの買いが入る可能性はあるが、IPOの再開で1兆元を超える応募資金が凍結されるとみられており、需給の悪化が相場の重しとなりそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 昆侖能源(00135)	6.66	1.06
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

### ▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 キャセイ・パシフィック(00293)	13.64	-10.38
2 リー&フン(00494)	5.33	-7.63
3 中国蒙牛乳業(02319)	12.54	-6.97
4 中国神華能源(01088)	12.14	-6.47
5 華潤電力控股(00836)	14.58	-6.42
6 シンバック(00386)	4.76	-6.11
7 招商局国際(00144)	24.95	-6.03
8 華潤置地(01109)	20.85	-5.44
9 恒隆地産(00101)	18.32	-5.37
10 信和置業(00083)	11.34	-5.34

### ▼今週の期待材料

- ◆上海総合指数の急落を受け、自律反発狙いの買いが入る可能性も
- ◆1日に中国の製造業PMI発表、市場予想を上回る内容なら景気の先行き不安後退へ
- ◆中国人民銀行が中期貸出制度(MLF)金利を3.25%に引き下げ
- ◆IMFが30日に人民元の特別引き出し権(SDR)採用の可否を採決

### ▼今週の懸念材料

- ◆中国証券監督管理委員会が証券大手3社の法令違反を調査、調査対象拡大への警戒感広がる可能性も
- ◆本土市場でIPOが再開。凍結資金は1兆元を超える見通しで、需給悪化が相場の重しに
- ◆ECB理事会、米雇用統計など海外で重要イベント集中、思惑的な動きで相場が不安定になる可能性も

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 国電科技環保 (01296) : パリでCOP21が開幕、環境銘柄として注目集める可能性も
- ☆ 中銀香港 (02388) : 人民元のSDR採用問題、採用されれば人民元業務拡大に弾み
- ◇ 安徽コンチセメント (00914) : 西部セメントへの資産注入計画発表、連結子会社化へ
- ◇ 龍源電力 (00916) : 総額20億円の短期社債の発行を完了、債務借り換えなどに充当
- ◇ チャイナ・モバイル (00941) : 親会社から総額329億円で固定通信業務買収へ
- ★ 雲遊控股 (00484) : 15年12月本決算は赤字拡大の見通し、市場投入の遅延など響く
- ★ シンガマス・コンテナ (00716) : 15年12月本決算は業績悪化で赤字転落の可能性も
- ★ 中国広核電力 (01816) : 台山1号機、2号機の商業運転開始時期を1年先送り
- ★ 海通証券 (06837) : CSRCが信用取引での法令違反の疑いで調査、30日に取引再開
- ★ 中国輝山乳業 (06863) : 15年9月中間決算は5%減益、粗利益率も低下

## ▼今週の主なイベント

- 12月1日(火)
- 【中国】製造業PMI、財新製造業PMI(11月)
- 12月3日(木)
- 【欧州】ECB理事会
- 12月4日(金)
- 【米国】雇用統計(11月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>  
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。